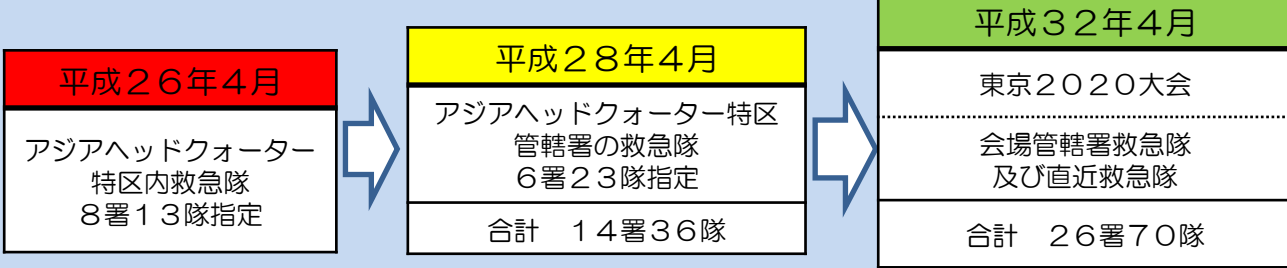


東京消防庁の対応と取組み

英語対応救急隊

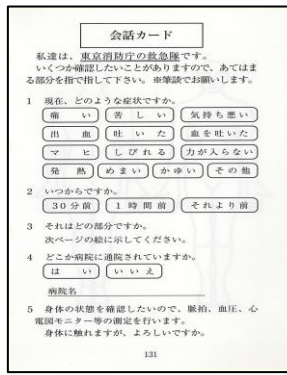
- 1 アジアヘッドクォーター特区への外国企業の進出、東京2020大会の開催等により都内に外国人が増加することを見据え、外国人が安心して滞在できる環境を整備する必要があることから整備された。
- 2 英語対応力を備えた救急隊員により、外国人傷病者の円滑な容態把握及び関係者等への対応を行い、適切かつ迅速に外国人傷病者を搬送する。

英語対応救急隊の指定計画



コミュニケーションマニュアル

昭和63年に英語に対応できるツール「外国語マニュアル」として救急隊に配置。平成2年に11ヶ国語に対応できるように再編され、平成16年には視覚障害者等の対応として会話カードを追加し、名称をコミュニケーションマニュアルと変更している。



対応可能言語

英語、フランス語、ドイツ語、韓国語、中国語、スペイン語、イタリア語、タガログ語、インドネシア語、マレー語、タイ語

救急用コミュニケーション支援ボード

(平成28年改定版救急隊用)

- 支援ボードは、救急現場における情報収集及び伝達手段の一方策として傷病者の状態や現場の状況等を総合的に判断し使用する。
- コミュニケーションマニュアルにおける会話カードの補完的な扱いとして活用する。
- 救急隊用と消防隊用がある。

対応可能言語

英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語



(平成23年財団法人明治安田こころの健康財団より寄贈/監修：東京消防庁)

救急ボイストラ

平成22年から国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が翻訳アプリVoicetraとして公開。平成29年4月に総務省消防庁消防研究センターの協力により改良され、救急活動に特化した「救急ボイストラ」の提供が開始された。平成30年10月より15隊に配置、今後拡充予定。



救急ボイストラ
使用状況

対応可能言語

英語、中国語、韓国語、タイ語、フランス語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語、ミャンマー語、アラビア語、イタリア語、ウルドゥ語、オランダ語、クメール語、シンハラ語、台湾語、デンマーク語、ドイツ語、トルコ語、ネパール語、ハンガリー語、ヒンディ語、フィリピン語、ポーランド語、ポルトガル語、ポルトガル語(ブラジル)、マレー語、モンゴル語、ラオ語、ロシア語

多言語通訳支援業務（指令室）

外国語による119番通報に対し、総合指令室では常時英語担当者により対応しているが、今後、増加する訪日外国人への対応及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、英語以外の言語による外国人からの119番通報及び災害現場等での多言語対応を強化していく必要があることから、電話通訳センターを介した同時通訳を導入し運用を開始するもの。

対応可能言語

H29. 7. 1～ 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語及びスペイン語

○ 通訳業務の対象条件

- 日本語によるコミュニケーションが困難な119番通報事案
- 日本語によるコミュニケーションが困難な災害現場等において、以下に該当する事案
 - ア 災害現場において情報収集する必要がある場合
 - イ 救急現場において傷病者や関係者とコミュニケーションボード等を活用しても対応が困難な場合

多言語通訳支援業務委託イメージ図

